

【様式】

政務活動一覽

議員名：山川智帆

[illegible]

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告 (県外・国外)

議員名：山川 智帆

活動事項	オガールプロジェクトの概要講習、エリアポイント見学
活動年月日	令和6年7月10日(水) 移動日、宿泊 令和6年7月11日(木) 政務活動 9:30~11:45
場所	(株)オガール紫波町情報交流館 小スタジオ1 (岩手県紫波郡紫波町)
活動の相手方	紫波町参与 高橋氏
活動の目的	公民連携事業 (PPP) 「オガールプロジェクト」の行政視察し、本県の公民連携の参考とするため。
活動の内容	オガールプロジェクトの概要講習の受講及びオガール施設の現地見学を実施。
活動の結果等	10年以上塩漬けになっていた町有地を PPP 活用による広場・役場・分譲地・図書館・スポーツ施設・商業施設等を配置し多くの人が訪れるエリアとなっていた。公共施設・公民連携施設はともすれば過大な投資となりがちであるが本プロジェクトは目指す住民の暮らしを描いた上で、継続性・事業性を十分精査し、必要な分だけの施設をつくるという手順を徹底していた。 また、早い段階で建築やデザインの有識者によるデザイン会議を設置した点も成功した要因のひとつと考えられる。紫波町では本プロジェクトの成功をきっかけに積極的に PPP を活用したまちづくりを展開されている。 今回、講師以外の複数の町職員さんとも接する機会があったが、いずれの職員の方も、モチベーション高く、まちづくりに対する熱意を感じられた。 本施設で学んだ事を本県政策への提言に繋げたい。
関連領収書番号	602・701・702・703

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 山川 智帆

活 動 事 項	国内初 PPP 活用の市営住宅建替「モリネキ」プロジェクト講習、現地見学
活 動 年 月 日	令和6年9月4日
場 所	大東市立北条人権文化センター、モリネキエリア現地
活動の相手方	「morineki」代表、政策推進部 萩原氏
活 動 の 目 的	国内初 PPP 活用の市営住宅建替プロジェクトの行政視察し本県の PPP 活用と公営住宅事業の参考とするため。
活 動 の 内 容	モリネキプロジェクトについての講演を受講し、モリネキエリアの現地視察を実施。
活動の結果等	全国初の PPP 手法を用いた市営住宅の建て替え・生活利便施設。老朽化が進んでいた市営飯盛園第二住宅の再生は同市の懸案事項であり、地域の再生のためには単なる市営住宅の建て替えでは無く、公園の中に店舗や事務所、住宅が建っているかのような新しいエリアとしての姿が必要であった。これを実現するために岩手県紫波町オガールプロジェクトを参考にテナント先付け逆開発・金融機関と向き合う PPP 手法を採用。エリア内には広場を中心に市営住宅とあわせレストラン、事務所、衣料品店等複数の民間施設が出店し多くの住民が訪れる場所となっていた。 建物所有者である SPC がプロジェクトファイナンスと大東市等からの出資により資金調達。借り上げ市営住宅部分は部分的に民間賃貸へ移行し20年間の借り上げ期間終了時には民間に全て移行する予定となっている。同市にとって市営住宅の削減も課題であり出口戦略も立てられていた。また周辺道路の路線価は上昇傾向で(令和4年度は前年比125%増加)、周辺戸建て住宅の新築も進んでおり、周辺地域へも大きな効果がうまれていた。 本施設で学んだことを本県政策への提言に反映させたい。
関連領収書番号	801・902